

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	17	1		
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	14	3		・記入無し1(コメント有り)・専門性については専門的な話をきかないので不明。・学習、作業療法など、専門的な取り組みをしてもらっているが、基底が分からないのでスマセン。・学習指導、OT(作業療法士)の先生方にも専門的に適切な支援をして頂き大変満足である。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	12	5		・記入無し1(コメント有り)・事業所へいかない(送迎の為)のでわからない。・そこまで見学してなくてスマセン!
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	17	1		
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	15	2		・記入無し1(コメント有り)・コロナの影響により難しい部分もあるかと思う。・計画はされているが、コロナの為出来ない事も多々あると思います。・子供の特長、課題に応じて、個別活動等随時、活動内容の変更あり、工夫がなされている。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	7	9		・記入無し2(コメント有り1)・わからない。・分らない。・交流はされているかもしれないが、具体的にどのようにされているかの提示がない為。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	16	2		
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	15	3		・発達状況や課題についてはあまり話していないのでわからない。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	12	5	1	
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	4	8	4	・記入無し2(コメント有り1)・縦のつながりはあると思いますが、横のつながりはないと思います。・父母の会等は、参加を募られているかもしれないが、学校の行事等の参加でいっぱいなので、そうした事情を考慮しているのだと思う。・分かりません。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	13	4	1	・謝罪よりも改善策についての説明をして頂きたい。

	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	15	3		・気になる事はその都度報告してもらっている。学校からの報告が時々伝わってない事もある。
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	17	1		
	14	個人情報に十分注意しているか	15	2		・記入無し1(コメント有り)・わからない。
非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	9	7	1	・記入無し1(コメント有り)・説明を受けたことがない為よくわからない。・そこまでの詳細はわかりません。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	10	6		・記入無し2(コメント有り2)・わからない。・保護者はわかりません。
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	16	2		・土曜日利用を時々嫌がる。・とても楽しみにしている。利用開始し、子供の良い方向への変化、成長を感じている。
	18	事業所の支援に満足しているか	15	2	1	・専門的かつ丁寧な支援をして頂き大変満足している。・いつもいろいろとご配慮いただきありがとうございます。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

第三回 令和2年度（2020年）

自己評価表へのご意見と

HIRO キッズの振り返り

環境・体制整備

2. 職員の配置数は、福岡県の定めがあり、職員数は適切に配置しています。

専門性については、職員は障がい特性などを日々学びながら利用者（子どもさん）に接しています。学校の宿題は放課後等デイサービスで済ませてくることを望まれるご家庭が多く、利用者（子どもさん）お一人お一人が個性を持っておられるので、工夫しながら関わっています。学習支援の経験のある職員や、作業療法士の職員も配置しながら、専門性を高めたり、その職員のやり方を他の職員が参考にしながら、職員の専門性も高めていこうという狙いもあります。

HIRO キッズの取り組みは まだまだ保護者の皆様にお伝えが不十分なところもあり、もっと保護者の皆様にお伝えして、ご理解いただけるよう努めて参ります。

3. 事業所は賃貸で借り受けている建物を使用しています。もとよりバリアフリーの建築設計がなされており、現在の利用者（子どもさん）が困る設備ではありません。

適切な支援の提供

5. 活動プログラムは固定化しないよう、工夫しています。平日は宿題や課題を一つ終えることを目標にしています。その後はある程度利用者（子どもさん）の希望に沿って活動してもらっています。できるだけ外の活動に重点を置き、近くの公園に連れ出すようにしています。土日や長期休暇の時には、イベントを交えながら、楽しく過ごせるように工夫しています。昨年からのコロナの為、HIRO キッズの活動も著しく制限され、人が多いところなどは行きづらくなりました。コロナ感染対策には限度がありますが、努力して参ります。
6. 毎年クリスマス会では、中学校のブラスバンド部の生徒さんが来て演奏をしてくれますが、今年度はコロナの為に、初めて演奏がありませんでした。今年度、色々なところとの交流は出来ておりません。

保護者への説明等

8. 利用者（子どもさん）のお送りの時や、HIRO キッズでお会いできる時等に利用者（子どもさん）のご様子をお話したりしています。ご説明やご様子のお伝えが十分できるように今後も努めて参ります。
10. HIRO キッズでは、保護者会はこれまでに1回の開催にとどまっております。反省も込めて、令和4年度の前半中に1回、令和4年度末の3月に、その後は毎年度末の3月に保護者会を開催していくよう内部で取り決めました。実践して参ります。
11. 利用者（子どもさん）や保護者の皆様のご意見、苦情については真摯に向き合うようにしております。まずは内部で管理者を中心に対応し、難しい意見、必要と感じた意見については、第三者委員会にも相談し、助言を頂いています。

非常時等の対応

15. 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを保護者の皆様に周知・説明が不十分になっています。速やかにマニュアルを配布いたします。
16. 福岡県の定めにより、年に2回、火災避難訓練を実施しています。最近の水害、地震災害の増加により、火災避難訓練だけでなく、他の非常災害の訓練の実施も推奨されていますが、現在の所、実施できていません。火災避難訓練の時に、他の非常災害について話して、困った時には助けを呼んだり、指定されている増永公民館まで避難して、困っていることを伝えるようにと教えています。

満足度

17. 18. 今後も、利用者（子どもさん）、保護者の皆様の満足度が高い事業所になるよう、努力して参ります。